

経営と一体となったCSR活動の推進

人財戦略と融合したCSR活動を実践することで、 企業価値の最大化を目指します。

IDECグループは、創業時に制定した「社員すべてが人間性を尊重しつつ企業の発展を通じて社会経済に貢献する」という企業目標のもと、CSR活動に積極的に取り組んでいます。

とりわけ、事業を通じた「安全の普及」と「地球環境保護への貢献」をその活動の中心に据え、「IDECグループ行動基準」や国連グローバル・コンパクトの10原則に基づき、事業活動を通じた持続可能な成長を目指しています。

2017年に制定した「IDECグループCSR憲章」では企業目標、すなわち「人間性尊重経営」に基づきお客さま、株主・投資家の皆さま、お取引先さま、国際社会・地域の皆さまなどIDECグループを取り巻くすべてのステークホルダーの幸せを最大化することを宣言しています。その中でもステークホルダーの第一に「社員」を掲げていることが特徴です。

これは、事業活動の主体である社員一人ひとりが生き生きと働けることが、革新的な製品・サービスの開発や質の高いものづくりにつながり、顧客満足度の向上と社会への貢献が実現できると考えているからです。そのため、CSR戦略と人財戦略を連携・融合させて「働きやすさ」と「働きがい」のある企業風土づくりを推進しています。

近年、会社の品質は、QCDS (Quality: 品質, Cost: 価格 Delivery: 納期, Support: サポート) などの「製品品質」のみならず、環境や社会性、企業統治など「経営品質」を加えた総合的な評価で判断されています。

メーカーとしての「製品品質の向上」はもちろん、企業目標に基づくCSR活動による「経営品質の向上」を高めることで、企業価値の最大化を図ってまいります。

執行役員
人財戦略・CSR担当
村井 俊文



CSR関連データは下記URLよりご覧いただけます。
<http://jp.idec.com/ja/csr/data.html>

■ IDECグループCSR憲章

社員の皆さまへ

IDECグループは、社員に対して、安全・快適で働きやすい職場環境を提供し、社員の皆さまが誇りを持って働き甲斐を感じる企業を目指します。

お客さまへ

IDECグループはお客さまに対して、「安心」、「安全」を提供する高品質、高性能な製品の開発・生産・販売を約束します。そして、誠実できめ細やかなサービスの提供、適切な情報開示を心掛け、信頼を勝ち得る企業グループを目指します。

株主・投資家の皆さまへ

IDECグループは、株主・投資家の皆さまに対して、積極的に幅広いIR活動を通じ、グローバル企業としての説明責任を果たします。そして価値ある企業として成果を創出し、適正な利潤を確保することにより、皆さまの期待に応えることを目指します。

お取引先さまへ

IDECグループは、お取引先さまに対して、公正で合理的な取引基準を設け、強いパートナーシップを築くことで、互いに繁栄し成長し続ける信頼関係づくりに努めることを目指します。

国際社会・地域の皆さまへ

IDECグループは国際社会・地域の皆さまに対して、企業活動を通じた交流・親交を深め、それぞれの文化、歴史を尊重し、社会貢献・支援活動を行います。また、地球環境の保全活動も積極的にを行いグリーンエコノミーの実現に向けて貢献することを目指します。

国連グローバル・コンパクト10原則



【人権】企業は、

- 1: 国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
- 2: 自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。

【労働基準】企業は、

- 3: 組合結成の自由と団体交渉の権利の実効的な承認を支持し、
- 4: あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
- 5: 児童労働の実効的な廃止を支持し、
- 6: 雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。

【環境】企業は、

- 7: 環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
- 8: 環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
- 9: 環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。

【腐敗防止】企業は、

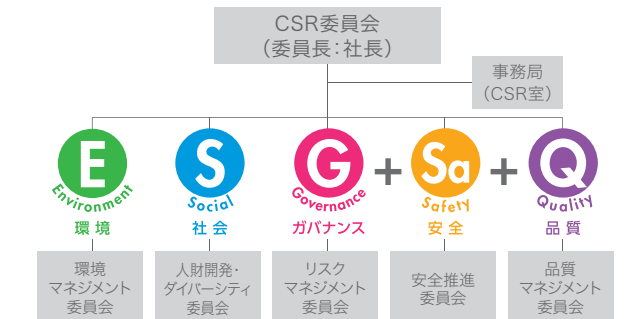
- 10: 強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

CSR推進体制

CSR委員会

IDECグループは、「人間性尊重経営」を企業目標として掲げ、「安全の普及」と「地球環境保護への貢献」を中心とするCSR活動を推進してきました。

2018年4月にIDECは企業の社会的責任を果たすために、社長を委員長とする「CSR委員会」を設置しました。CSR委員会の下に分野ごとの専門委員会を設け、それぞれのテーマに即した施策の検討や推進に取り組んでまいります。



ESGに「安全」と「品質」を加えた IDEC独自のCSR活動

近年ESGをはじめとする社会貢献への重要性がさらに高まっていることから、「環境(E)」「社会(S)」「ガバナンス(G)」にIDECの強みである「安全(Sa)」「品質(Q)」を加えた「ESG+Sa+Q」への取り組みを通じて社会に貢献することで、「経営品質の強化」を図り、持続的な成長と企業価値の向上を推進していきます。また、「ESG+Sa+Q」のテーマに即した「CSRイノベーション・セミナー」を社内でも定期的に開催しており、執行役員が講師を務めています。

持続可能な開発目標 (SDGs) への取り組み

2015年9月、国連本部において「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。アジェンダでは、人間、地球および繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げています。これが17の目標、169のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」です。

IDECグループは、グローバルに事業を行う企業体として長期的な視野に立って、SDGsの目標達成に寄与していくことを目指しています。



S 社会

Social
社会

社会に必要とされる企業であるために

主に関連するSDGs



人事基本方針

「人を大切にすると」「人を育てる」を基本とし、人事施策を展開するにあたっては、その根底に「人間性尊重」の精神をもって行い、人財が育つ風土を確立します。経営基本方針の意図・内容を十分に理解し、それを実践・体現することによって、個々の使命・責任を果たすことのできる人財を育成します。



ダイバーシティ

国籍やセクシャリティ、障がいの有無を問わず多様な人財の採用を進めるなど、ダイバーシティを推進しています。IDECロジスティクスサービス株式会社では、障がい者の雇用と定着に積極的に取り組んでおり、2018年3月31日現在で17名の障がい者が就業しています(障がい者雇用率10.6%)。また、外国人技能実習生を継続的に受け入れ、技能並びに日本語、日本文化の習得を支援しています。



福崎事業所で実習を受けている外国人技能実習生

災害支援

国内外で大規模な自然災害などが発生した際に、速やかに支援できるよう義援金拠出のルールを策定し、寄付を行っています。同時に、社員への寄付活動の呼びかけを行い、会社が社員からの寄付と同額を上乗せして寄付するマッチングギフト制度を取り入れています。

【2018年3月期寄付実績】

- 九州北部豪雨災害(寄付先:日本赤十字社)
- 米国・大型台風「ハービー」「イルマ」災害(寄付先:アメリカ赤十字社)

社会貢献活動

献血に積極的に協力する企業として、2017年に日本赤十字社の「献血サポーター」に登録されました。地域社会への貢献活動としては、総合学習の一環で行われている地域の学生・生徒の企業訪問を受け入れています。また、2017年12月の寄付月間にあわせて社内で書籍などを集めてNPOに寄付する「ありがと本」を実施し、合計107点が集まりました。



年2回献血車が本社を巡回



社員から集まった本を「ありがと本」として寄付

社員への取り組み

ライフワークバランス

IDECグループは社員の生活を最重要と捉え、「ワークライフバランス」ではなく、あえて「ライフワークバランス」と定義し、生活の充実につながる働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組んでいます。特にすべての社員が育児や介護をしながら安心して働ける基盤づくりについては法定を超える取り組みを行っており、その結果、2018年3月期の女性社員の育児休業取得率、育児休業復帰率はともに100%となりました。

■出産・育児に関する諸制度

妊娠	出産	1歳~	
つわり、通院に関する措置	産前・産後休暇	育児休業	小学校卒業
通勤緩和・休憩等の措置			
	育児短時間勤務(小学3年まで)		
		育児時差勤務	
		所定外労働の免除	
		子ども・家族の看護休暇	
		時間外労働の制限	
法定以上の取り組み			

人材活用企業として高い評価

ライフワークバランスの向上や人財育成の取り組みが評価され、東洋経済 第12回(2018年) CSR企業ランキングで人材活用において71位を獲得しました。

東洋経済CSR企業ランキング
(人材活用部門) **71位** / 1,165社

「くるみん」の取得

次世代育成支援対策推進法に基づき、自主行動計画を策定・実践しており、2017年7月に厚生労働大臣認定「くるみんマーク」を取得しました。育児休業の一部有給化、所定外労働時間の削減と年次有給休暇の取得推進のための施策として、周知・啓発活動を計画し、実施しています。



社内英語公用語化

「真のグローバル企業」となるため、2020年の社内英語公用語化に向けて、中堅・若手社員を対象とした海外トレーニー制度の導入、国内グループ全社員のTOEIC®受験など英語教育プログラムを導入しています。そのほか、有志の社員が集まり、英語でのフリートークや映画鑑賞を通じて楽しみながら英語力を上げることを目的としたEnglish Café Clubも開催しています。

人財育成

IDECグループでは、求める人材像として「チャレンジ精神」、「チームワーク」、「自己研鑽」の3つを掲げ、これらを兼ね備えたグローバル人材の育成に力を入れています。2016年度から教育制度を抜本的に見直し、経営マネジメント経験が豊富な社外取締役を講師とした、次世代経営幹部候補の育成を図るためのプログラムを社内でも実施するなど、積極的な人財育成を展開しています。

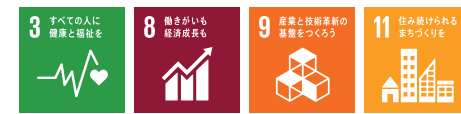
■IDECの人財育成プログラム

	階層別	グローバル教育
管理職	【選抜型】 経営幹部候補育成プログラム	海外赴任前研修 社内英会話教室 オンライン語学学習 通信教育
	【選抜型】 次世代幹部候補育成プログラム	
	社外アセスメント研修	
中堅社員	【選抜型】 次世代幹部候補プレプログラム	海外トレーニー制度
	入社5年目研修	
若手社員	入社3年目研修	
	新入社員研修	

Sa 安全

新しい時代の「安全をつくる」ために

主に関連するSDGs



Q 品質

「品質のIDEC」をお届けするために

主に関連するSDGs



安全基本方針

IDECグループは、「人間性尊重経営」を前提として、「企業活動を通して社会・経済に貢献する」という経営の基本方針に基づき、IDECグループだけでなくグローバル社会での安全で快適な環境づくりのため、すべての事業活動において常に高い安全性の実現を目指します。



品質基本方針

IDECグループが目標とする品質を「使いやすさ」におき、ユーザーに安心して購入し満足して使用していただける優れた製品と、これを最も経済的に作り出す技術を確認するため、全員で考え全員で挑戦する品質保証体制を築き、『品質のIDEC』を実現します。



安全思想

IDECグループは、「産業事故撲滅に貢献する」ことを重要な社会的責任と位置づけており、さまざまな安全・防爆関連機器やサービスを提供しています。

創業間もない1950年に開発された「SB形金属箱開閉器」に、既に作業者の安全を守るインターロック機構を採用していました。以来この安全思想はIDECグループの安全DNAとして受け継がれています。IDECグループは、これからも Zero Accident を標榜する Vision Zero の活動等を通して、ものづくり現場をはじめ世の中の安全性向上を推進していきます。



1950年に開発した安全機器の草分け「SB形金属箱開閉器」



IDECグループの安全技術・セーフティコンポーネント・制御機器を組み込んだ、安全性と生産性を両立する協調安全ロボットシステム

Safety2.0(協調安全)の推進と「安全」啓発活動

IDECグループは、人と機械・ロボットが協働し、安全性と生産性の両立を実現する、次世代安全思想 Safety2.0(協調安全)の追求により、「ロボット革命」、「Connected Industries」のさらなる実現を目指しています。

また産業事故撲滅のため、「ものづくり安全セミナー」や「防爆安全セミナー」を全国各地で開催しており、2018年3月期で累計1,570回開催し、受講者数は37,115名となりました。



セーフティアセッサ資格証、有資格者数

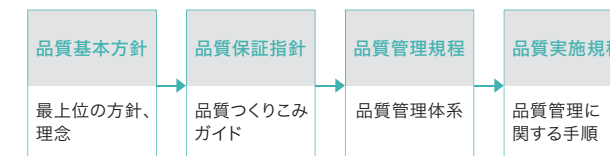


※セーフティアセッサ資格とは、経済産業省の基準認証事業で(一社)日本電気制御機器工業会が開発し、日本認証(株)が実施しているグローバルに通用する機械・制御・防爆安全に関する安全技術者や管理者を育成する資格認証制度です。本制度は海外でも採用され、全世界で13,000名以上の資格者が輩出されています。

品質基本方針と品質保証指針

IDECグループの「品質基本方針」は、「製品の価値を品質におく」という基本姿勢と、これを堅持・完遂するという精神を創業当初より実践してきました。この品質基本方針に基づき、ユーザーが必要とする期間、信頼しかつ十分に満足して、使用し続けていただける製品を提供するために、各段階において組織的に実行すべき活動(品質保証)の指針を定めています。

品質方針体系



ISO 9001 認証取得

IDECグループでは、顧客や市場が求める品質を備えた製品やサービスを提供するための品質マネジメントシステムを構築し、管理・運用しています。品質マネジメントシステムの国際規格である ISO 9001 において第三者認証を取得しています。

IDECグループ ISO 9001 取得会社

- IDEC株式会社
- 台湾愛徳克股份有限公司
- 蘇州和泉電気有限公司
- IDEC ASIA (THAILAND) CO., LTD.
- IDECファクトリーソリューションズ株式会社
- 株式会社ウェルキャット

品質教育

生産・開発を含めた全社の品質レベル向上のため、階層ごとのカリキュラムを設定した体系的な品質管理研修を継続的に行っています。また、品質改善の力量確認と伸長を目的として、一般社団法人日本品質管理学会が認定する品質管理検定の受検も推奨しています。これら品質教育によって修得した品質管理の考え方や統計手法を実際の業務やQCサークル活動など日常で実践することによって、製品の品質向上や業務の継続的改善につなげています。

保持者数

555名

※IDEC本社および国内外グループ会社の品質管理検定 保持者数 (2017年10月時点)



QCサークルIDEC大会入賞者発表会

E 環境

Environment
環境

事業を通じて地球環境保護に貢献するために

主に関連するSDGs



環境基本方針

IDECグループは、地球環境と企業運営の関係において、地球との共生が人類共通の願いであることを認識し、事業活動のすべての面で、環境の保全を最重要課題として行動し、持続可能な発展を目指します。



地球環境保護につながる事業

IDECグループは、これまで培ってきた制御技術・環境技術を活かしたメガソーラー施設やファインバブル技術を応用した農業プラントの開発・界面活性剤を使わない洗浄ソリューションなど、環境をテーマにした事業を展開しています。



システム設計、施工、保守までワンストップで提供するメガソーラー事業

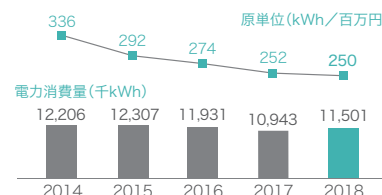


農産物生育促進や洗浄分野に応用できるファインバブル発生装置「GaLF」

ISO 14001に基づく環境負荷低減

ISO 14001環境マネジメントシステムに基づき年間目標を定め、電力使用量、水使用量、紙使用量、一般廃棄物量、CO₂排出量の削減に、全社をあげて取り組んでいます。

■電力消費量推移



※原単位は各年度の売上高当たりの使用量

※データ集計範囲は、本社/技術研究センター、筑波事業所、尼崎事業所、福岡事業所、滝野事業所、竜野物流センター

環境配慮型製品

IDECグループは、1978年の製品開発ポリシーの制定以来、製品開発における基本思想として、「省」に基づく最適制御の実現を掲げています。省エネルギー・省スペース・省メンテナンス・省資源など、あらゆる「省」の思想は現在も変わらず、独自の設計審査基準に基づいた新しい環境配慮型製品の開発に継続的に取り組んでいます。

■環境配慮型製品の設計審査基準

配慮要素	製品構造
再利用/再資源化	再資源化容易性
	解体容易性
	廃棄処理容易性
省資源/省エネルギー	減容化・軽量化
	消費電力削減
環境安全性	長期使用対応
	規制化学物質不使用



高密度実装により省スペースを実現する超薄形インターフェイスリレー「RV8H形」



省スペース、省工数、そして高効率化による省エネルギーを実現するスイッチング電源「PS5R-V形」

G ガバナンス

Governance
ガバナンス

信頼される企業であり続けるために

主に関連するSDGs



コーポレートガバナンス・ポリシー

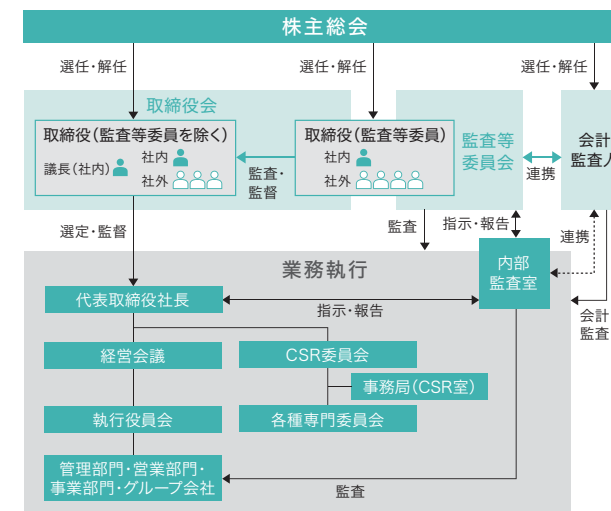
IDECグループは、株主さまをはじめとするステークホルダーに対して、経営の透明性ならびに効率性を確保することをコーポレートガバナンスの基本と考え、企業価値の向上を実現するために、コーポレートガバナンスのさらなる強化を推進します。



監査等委員会

IDECグループは、2018年6月開催の定時株主総会をもって監査等委員会設置会社へ移行します。この移行により、重要な業務執行の全部または一部を業務執行取締役委任することで、グローバルカンパニーとしてスピーディに意思決定できる体制を整備します。また、監査等委員を含めた取締役全員が議決権を有することにより、取締役会を「業務執行」「監査」「監督」のそれぞれの立場からより活発な議論ができる環境へと発展させ、さらなる監査・監督機能の強化を実現します。取締役会は、取締役5名(うち社外3名)と監査等委員である取締役5名(うち社外4名)の計10名で構成され、社外役員を多く任用し経営の透明性を確保します。

■コーポレートガバナンス体制



2018年4月に新たに設置した「CSR委員会」から取締役会に対し、リスクマネジメントのみならず、環境・社会・安全・品質などのCSR活動全般についての内容を報告する体制としています。

コンプライアンス/リスクマネジメント

職務を行ううえでの基本的な考え方や行動の指針を「行動基準」にまとめ、国内外の社員に配付しており、入社年数や職責・階層に応じた定期的な研修を実施しています。さらには、危機回避と万が一の危機発生時の被害最小化を目的とした「危機管理規程」を制定し、CSR委員会の傘下に設置した「リスクマネジメント委員会」において、IDECグループ全体でのリスク評価や危機発生時の対応を行っています。

また、企業倫理に関する相談や内部通報を受け付ける「IDECホットライン」を設置し、社内窓口とグローバルベースで受付可能な外部窓口を設け、グループ全体でリスクの事前防止と早期発見に努めています。



行動基準